

杉村顯道 けいどう 小説家、俳人。明治二十七年東京生れ、平成十一年歿（一九〇四―九）。本名顯あきひろ。號彩雨。明治學院大學、國學院大學小學生だのち、長野、樺太、宮城、秋田で教職の傍ら執筆活動。昭和二十八年宮城縣精神障害者救護會國見臺病院を、二十九年宮城縣藝術協會を設立し、同縣教育文化功勞者となる。

譯著書 海詩 『和譯關山月』（本名、昭和十一年四月十日樺太・若林書店）、
 『怪談十五夜』（昭和二十一年七月五日宮城・友又堂書房）、
杉村 『頭道全集』、『彩雨亭鬼談』（平成二十一年一月十日宮城・荒蝦夷）等。

